

# 常任委員会活動報告

## 総務常任委員会

令和8年1月19日から2泊3日の日程で福岡県北九州市及び福岡市への委員会視察を実施しました。人口減少社会を見据え、北九州市の全庁的DX推進や福岡市のリモート窓口事業を調査し業務改革と市民サービス向上を両立する先進事例から、釜石市における行政DXと半島部を含むネットワーク型行政サービスの可能性を調査しました。



## 民生常任委員会

令和8年1月26日から2泊3日の日程で、遠野市、東京都文京区及び東洋ライズ株式会社への委員会視察を実施しました。今回の視察では、学校給食をテーマとし、食育の推進、調理の工夫やICT活用、児童参加による残食の削減、保護者への情報発信、地域食材や金芽米の活用による健康意識の向上などを調査し、今後の給食施策への活用を検討していきます。



## 経済常任委員会

令和8年2月、淡路市で（株）パソナグループの地方創生セミナーを視察し、民間主導による雇用創出や人材循環、官民連携の重要性を学びました。地方創生には施設整備より人材と仕事の創出が鍵となり、行政には環境整備と制度設計に注力する役割が求められます。本市でも明確なビジョンの下で民間と連携した産業振興が必要であるとの示唆を得ました。



# 1月臨時会

1月16日、臨時会が開催され、市長から物価高騰対策として一般会計補正予算案が提案され、総額5億1870万円を増額する内容が説明されました。主な事業は、福祉施設、農業者、運輸事業者への支援、市民向けプレミアム付商品券「かまいしエール券」、宿泊事業支援などです。

議員からは、福祉施設支援や農業支援、かまいしエール券に対して質疑がありました。特にかまいしエール券を巡っては、現金給付との比較や、高齢者・施設入所者が使いにくい点、就労世代への配慮不足、公平性の観点から多くの質疑が集中しました。活発な議論の後、予算案は全会一致で可決されました。



▼市議会だよりは、紙面の充実に向けた改革を進めています。限られた紙面構成の中で議会活動を掲載しておりますが、定例会の内容が中心となり、閉会中の活動について十分にお伝えできていない状況にあります。この課題の解消に向け、編集委員会は継続的に協議を行っております。より多くの皆様に手に取っていただける紙面づくりを進めながら、これからのまちの姿や未来への希望も感じてもらえるよう努めてまいります。(佐藤 記)

委員長 佐々木 義昭  
副委員長 深澤 秋子  
委員 佐藤 憲弘  
委員 井筒 健太郎  
委員 村田 信之  
委員 工藤 聡一郎  
委員 高橋 松一  
委員 細田 孝子